

第67回札幌支部高等学校サッカー選手権大会  
兼 第67回北海道高等学校サッカー選手権大会札幌支部予選会 開催要項

- 主催 北海道高等学校体育連盟札幌支部  
千歳地区サッカー協会  
札幌地区サッカー協会
- 主管 千歳地区サッカー協会 第2種委員会  
札幌地区サッカー協会 第2種委員会
- 当番校 札幌日本大学高等学校
- 1 期 日 1 回戦 平成26年5月24日(土) 準々決勝(代表決定戦) 平成26年5月27日(火)  
2 回戦 " 5月25日(日) ・第5代表決定予備戦  
3 回戦 " 5月26日(月) 準決勝・決勝・第5代表決定戦 " 5月28日(水)
- 2 会 場 札幌日本大学高等学校 (5日間)  
北海道北広島西高等学校 (4日間)  
北海道恵庭南高等学校 (3日間)  
北海道恵庭北高等学校 (" )  
北海道札幌厚別高等学校 (24日のみ)  
北星学園大学附属高等学校 (" )
- 3 競技規則 ① 本年度(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。  
② 選手交代は、試合開始前に最大9名までの交代要員の氏名を主審に通告しておき、そのうち5名までの交代が認められる。  
③ 本大会において、退場させられた者は次の1試合に出場できない。それ以降の処置については、本大会規律委員会で決定する。  
④ 本大会期間中、警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。  
⑤ 外国籍の留学生のエントリーは4名以内とし、そのうち出場できるのは2名以内とする。  
⑥ ユニフォームは(公財)日本サッカー協会制定の「ユニフォーム規程」に従うものとする。  
ア. 番号は、1~20番とする。  
イ. 参加申し込み以降の変更は認められない。なお、番号の変更も認めない。
- 4 参加資格 ① 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒であること。  
② 本年度(公財)日本サッカー協会の第2種に、5月7日(水)まで登録を完了したチーム・選手であること。  
③ 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入する意志のある者。  
④ 平成7年(1995年)4月2日以降に生まれた者であること。ただし、出場は同一競技会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
⑤ ア. 転校後6か月未満(支部予選日計算)の者は参加できない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等によりやむを得ない場合は、支部長の許可があれば、この限りではない。  
イ. 転校を伴わなくても、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記アに準ずるものとする。ただし、この規程イの適用は当該年度内に限るものとする。  
⑥ 参加する生徒は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の学校長の承認を必要とする。  
⑦ 参加資格の特例  
ア. 上記①に定める生徒以外で、②~⑥の大会参加を満たした生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。  
イ. 上記④のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。  
ウ. 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
エ. 部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

#### 【大会参加資格の別途規定】

- 1 北海道高等学校体育連盟加盟校以外の学校に在籍し、全道高校体育大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加資格を認める条件
    - ア 北海道高等学校体育連盟の目的および永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあつては、支部の予選会から出場が認められる。
    - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し、守るべき条件
    - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加者心得を遵守し、競技種目開催要項及び申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会参加料は、本大会登録選手1名につき500円とする。

5 引率責任者 および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の定めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。

- 6 チーム編成等
- ① 参加申込書に登録できる人数は「引率教員1名」「監督1名」「選手20名以内」「マネージャー2名以内」とする。
  - ② 課程(全日制課程・定時制課程・通信制課程)ごとの生徒によるチームであること。

- 7 競技方法
- ① 組み合わせについて
    - ア. 組み合わせについては、監督主将会議において抽選により決定する。
    - イ. 本年度「札幌支部高等学校サッカー春季大会」上位4チームをシードする。
    - ウ. 「高円宮杯U-18サッカーリーグ2014プリンスリーグ北海道」出場チーム(本年度4チーム)をシードする。
  - ② トーナメント方式により、札幌支部代表を決定する(3・4位決定戦は行わない)。
  - ③ 準々決勝における敗者4チームにより、第5代表チームを決定するトーナメントを行う(改めて抽選しない)。
  - ④ 試合時間について
    - ア. 1回戦については、70分(ハーフタイムのインターバルは5分)とし、勝敗が決しない場合は、20分の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティマークからのキックによって2回戦に進出するチームを決定する。
    - イ. 2回戦・3回戦・準々決勝(代表決定戦)・第5代表決定戦については、70分(ハーフタイムのインターバルは10分)とし、勝敗が決しない場合は、20分の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティマークからのキックによって次回に進出するチーム(第5代表決定戦においては第5代表チーム)を決定する。
    - ウ. 準決勝・決勝・第5代表を決定するトーナメントの1回戦(第5代表決定予備戦)については、70分(ハーフタイムのインターバルは10分)とし、勝敗が決しない場合は、ペナルティマークからのキックによって次回に進出するチーム(決勝においては優勝チーム)を決定する。
  - ⑤ 審判割り当てについては、監督主将会議終了後に作成し、後日学校長宛に送付する。なお、不都合が生じた場合は、大会3日前(5月21日[水]17:00)までに別紙の「審判変更願」を審判担当(北海道札幌工業高等学校 宮武宏行)宛に送付すること(FAX可)。
  - ⑥ 大会使用球として、未使用の(公財)日本サッカー協会検定球を持ち寄ること。

- 8 参加申し込み ① 「参加申込書1通」を5月8日(木)必着で当番校宛に郵送すること。  
(電話・FAX等での申し込みは受け付けない)。  
なお、不参加の場合は、5月7日(水)までに「不参加連絡票」を送付すること。
- ② 「プログラム作成用エントリー表」を5月8日(木)12:00までに当番校宛にメールにて送信すること。
- ③ 登録選手の変更は3名以内とし、所定の「登録選手変更申込書」に必要事項を記入し、学校長の許可を得て5月19日(月)必着で当番校宛に郵送すること。

9 参加料 大会参加料は、本大会登録選手1名につき500円とする(監督主将会議の際に持参すること)。

- 10 表彰等 ① 本大会の上位5チームに賞状を授与する。  
② 全道大会(6月開催 名寄支部)への出場は、上記①の5チームとする。

- 11 諸会議 ① 専門委員会・平成26年5月14日(水)10:00～  
第2種委員会 札幌日本大学高等学校 大会議室  
合同会議
- ② 監督主将会議 " " " 13:30～(受付12:30～)  
札幌日本大学高等学校 体育館
- ③ 開会式 " " " 監督主将会議終了後  
札幌日本大学高等学校 体育館
- ④ 閉会式 平成26年5月28日(水)決勝戦終了後  
札幌日本大学高等学校 グラウンド

- 12 その他 ① 「参加申込書」等については、下記の札幌地区サッカー協会のホームページよりダウンロードすることができる(Excelファイル)。  
<http://www.sfa-net.jp/>
- ② 大会運営は、第2種委員会申し合わせ事項および競技運営上の注意に従って行う。
- ③ 本大会の上位4チーム(札幌地区協会所属チーム)を、本年度「全国高等学校サッカー選手権大会札幌地区予選会」においてシードする。
- ④ 不測の事態により、競技に影響がある場合は、専門委員会、当番校で協議し決定する。

連絡先(当番校) 〒061-1103 TEL 011-375-2611  
北広島市虹ヶ丘5丁目7番1 F A X 011-375-4747  
札幌日本大学高等学校 E-mail oukonnittou@yahoo.co.jp  
高体連サッカー当番校事務局  
担当 小澤 忠謙